

祝辞

本日、晴れて、宝達高校を^ご卒業される七十一名の皆さん、^ご卒業、誠におめでとうございます。また、保護者の皆様に対しまして、心からお祝いを申し上げます。

さて、卒業生のみなさんは、今、高校生活のこの三年間を振り返り、さまざまな思い出がよみがえっていることと思います。勉強や部活動に励み、数多くの経験をされたのではないのでしょうか。また色々な学校行事の中で、クラス全員で取り組むことで、仲間の大切さや「絆」を実感されたことと思います。これは、一人一人何事にも替えがたい貴重な財産となることでしょう。今後の人生の中で、自信や勇気となり、生きる指針を与え、苦難を乗り越える大きな力となるものと信じております。

さて、皆さんは、ここ宝達高校で、社会で活躍するために必要な挨拶やマナー、そして知識だけでなく、困難なことに負けない「生きる力」を育むことができました。上級学校へ進む者、就職して一足早く社会に飛び込む者、皆さんの進む道はそれぞれですが、大人への一歩を踏み出します。光り輝く母校の卒業生であることを誇りに思い、今後の皆さんの活躍が、宝達高校の評価となり、宝達高校への恩返しとなることと信じております。

お世話になった先生方、地域の方々、そして、今まで支えて下さったご家族に感謝の気持ちを忘れることなく、それぞれの道を胸をはって歩んでいってください。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、諸先生方には、子どもに対しこれまで熱意あふれるご指導を賜りましたこと、保護者を代表いたしまして、改めてお礼申し上げます。

簡単ではございますが、平成二十六年度卒業式に際してのお祝いの言葉とさせていただきます。

平成二十七年 三月三日

宝達高等学校PTA会長 武部 秀康